（十八日夕刊）
休刊大祭第一第三日曜
定價一ケ月二十錢（郵稅十五錢）
廣告料壹行六十錢指定廿錢增
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番
編輯兼印刷人　遠沼龍輔

投票場での心得
平町役場で配布

平町役場では來る二十日の選擧會場の準備に忙殺され今十八日有權者に入場券を配布したが更らに投票場入場に際しての注意書を公示した

（イ）會場は全部ムシロを敷いてありますから下足のまゝ御上り下さい可成靴又は草履を脫ぐ雨天の時は雨具に名札を付けて御持ち下さい

（ロ）受付は（赤）名簿番號一番より一、三五一番まで（白）同一、三五二番より二千八百〇五番（外四、二九九　四、三〇〇號を含む）（紫）同二千八百〇六番から四千二百九十八番（外四、三〇一の三ケ所になつて居りますから其の區別によつて入場券を受付係に出しますと係員が之れ一判を押します、それと持つて選擧人名簿對照及投票用紙交付所に行くのです

（ハ）入場券を選擧人名簿對照係に出して之れと引換に到着番號札を受取之れを投票用紙交付係に出して投票用紙を受取る設けられてある投票記載所に行き被選擧人一人の名を書くのです、投票用紙の交附を受けた到着番號札にて投票記載するが、此き事となき樣注意せらるゝこと

（ニ）投票記載所で投票用紙に被選擧人一人の名を書き室の中程にある大きな投票函に投票を入れるのです入れ終ると右へ廻りて出口に行くのです

（投票を投票函に入れないで持ち歸つてはなりません）

（ホ）投票函に投票を入れ次方は御に出て來られたど

水道課の裏口より出るのです

雨天のときは出口より天幕内を通り小便室を經表の昇降口にて雨具を取るのです

錢湯屋で
時計を盜む
安吉捕はる

宮城縣增田町生れ當時平町南町稻島鐵工業所職工古川安吉（二四）は昨十七　午後七時半頃同町南町湯ノ業川木忠治方へ入浴に來たり相廻りて出口に行くのです

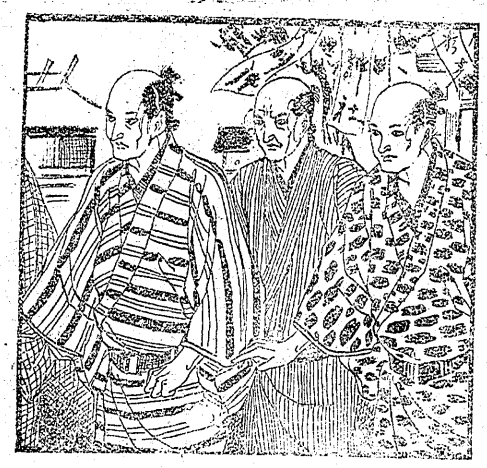
（投票を投票函に入れないで持ち歸つてはなりません）

（ホ）投票函に投票を入れ次方は御に出て來られたど

記岸澤某の入浴　隙を窺ひ記岸澤の脫衣中ら時價九圓の金側腕時計　窃取した事發覺し昨七日平署　檢

政友派候補者に
干渉の魔の手
當局の能度を監視
第二區は白兵戰

第三區木村、比佐、佐藤氏家の四候補は刻々に迫る最後の戰ひを目ざして必死となり地盤擁護に努力し政戰は全く白熱化し各派の運動員選擧監視員は深夜に至るまで小競合を演じ何れも入亂れ探偵戰も續いてゐる平署では十六日夜から私服警官を增員して眼不休これが警戒、活動を開始！▲昨收　魔手のばす最後の白兵戰には警官隊を中心政民兩派の監視員の猛烈な警戒が各所に演出されんとが傳へられた所によれば政府は警察官憲をして政友會候補者のみ嚴重な



「そのように、好らぬことを申すものではない。惡うはからはぬから……」

花札賭博

平町で一網打盡

平町田町結髮業金成とし方において十六日午後八時ごろ原の町三丁目都甲庄藏（四七）田町小林豊（四六）石城郡赤井村大字木正松（三七）外二名が車座となり花札使用の現金賭博を開帳中選擧違反防止のため密行中　平署員一網打盡に檢擧された

鑛山協會の
講演會

廿三日入山で

日本鑛山協會では來る二十日午　九時ゝ入山尋小學校に於て改正鑛業警察規則を講し說明旁ゝ講師一技師、講師島一技師、聽講者入山鑛業關係各鑛山ら多數の參會見でると

幕末奇傑
高山彦九郎

（69）

中西洋々作

（69）

南濱長春畫

降魔の里（四）

いよいよ鮮放された思ひですが、時ゝある茶店の前に大變な人だかりがして居つたのです。

清ちやん。なんだらう大變人だかりぢやないか」

「さうですね。何か怪我人も出來たんぢやありませんか」

そんなことを話し乍ら近寄つてみると

喧嘩だ！〳〵！」

といよいよ群集の叫びです。

根が武家奉公に鍛へた氣性ですから、それに多分の好奇心も手傳つて群集にまじつてひよいと覗いてみたのです。みると如何にも無賴漢らしい男が大地に仰むけに倒れて大刀の柄に手をかけた武士に盛んに惡態をつけ上つて來るのでした。

「何が町人だ、ふん、たかが町人だ、殺せ。殺せるもの殺してみやがれ？憚んなら三兩四兩の酒代が惜しくて詫びをいれようてなあ太吉がちがはあ、やい。駄やがるんだ。かう見えたつて、まむしの太吉てなあ、たゞの町人ぢやねんだぞ」

それをきいたとき民助は

「いつ！無禮な！」つ苦い武士の聲は遂に濟惑のそれとなつて飛び散りました

父兄に捧げたい
新入學期を前に

學校は家庭の延長でありたいと言ふことは却つて出來るだけ伸び伸びとなる樣持よく屈託ない教育を施すべきものゝ考へて居ますが、入學難と言ふ關門を通らねばならないことは日本は大きな禍ひに遭遇してゐる事　出來ます、何故入學難がこのやうに激烈かつたかと言ひますと、その源は遠くにあつて先づその源から

解決

して行かなければなりません、中學校に進んで卒業しても就職難かゝります、就職しようとするには成績を良くしなければならぬ、大部分は高等學校、中學校、小學校甚だしいのは幼稚園迄も深夜に至るまで小競合を演じ何れも入學試驗が必要な學資を明治維新の際に比べて見ると實に數百倍の多きに上つてゐます、女學校に上級學校への入學就職、更に婦人にとつて最も大きな問題である結婚も學校によつて支配されるといふことから有名な學校へ遠ふことになり、入學難が生じて來ます、教育は立

無理

に家庭教師や惡結果を招くことになります、學校の種類も自分の階級と同じ程度のものが宜しく、貧しい者が富裕階級の子弟の多い學校に入學すれば、甚だ淋しく思ふでありうし、富裕の子弟が全く階級の違ふお友達の中に居ても、お互に迷惑なことでありませう、最後に通學の

距離

等も考ふべきで充分健康能率を害ねやうな距離内の學校を選ぶべきです、次に小學校で行つてから授業料未納であるとか云つて會計から催促されることは純眞な子供にとつては實に辛いことで被服費、授業料、旅行費、實驗費

學資

等をよく調べてから子供の入學を進ますべきであつて、その餘裕がなく入學させることは却つて子供を持つて居ります。

現象

を基だ遺憾に堪へないと思つて居ります、毎年經濟界の萎縮させたりすることで、他に長所を見つけて、子供の爲の勝利を得るものはひねくれた所謂た優等生よりも知能常識に、別な生活の道を求めてやるべきであると思ひます又近頃多くの學校は凡そ一年間に必要な學資を明らかに示して居りますが、入學してから授業料未納であるとか云つて會計から催促されることは純眞な子供にとつては實に辛いことで被服費、授業料、旅行費、實驗費

學資

等をよく調べてから子供の入學を進ますべきであつて、その餘裕が

入學
試驗にパスは
落第

したものゝ入學してから落第すると云ふことは往々あることで、甚だ良くないと思ひます、從つて一般父兄に御注意したいことは餘り身體の强くない子供を、無理矢理に生命がけの方もないのに

開業披露

內科、小兒科專門
吉田醫院

日本醫學士　吉田正

四ッ倉町驛前　電話三〇番

セイコー時計の値下斷行
景品は特賣

金解禁と…國產品の愛用…

景品總額金拾貳萬圓

景品內譯

一等	蓄音器壹台
二等	置時計壹ケ
三等	置時計壹ケ
四等	目覺時計壹ケ
五等	特製ナイフ

三百六十本
五百本
一千本
五千本
參部へ

時計は信用ある精工舍製品を

平　三

特約店　大谷時計病院

電話十九番

內科、小兒科
花柳病科　入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町

電話平國五〇七番

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

○ツの石炭特色

○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります

◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません

◎當店は目方の正確を期する爲めに

正味十貫目ヲ單位トシ
一俵六十錢と定めました

目方の正確

○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります大量生産ですからお安く賣る譯が出來る强味を持つて居ります

品質の優良

○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから

電話二三七番へ

平　驛前

◎ツ　阿部石炭商店

共濟病院　各科專門

耳鼻咽喉科　醫學士　井上俊次郎
醫學博士　渡部貞助
產婦人科　醫學博士　松枝茂
外科　醫學士　氏家憲介
醫學博士　桂重次
內科　醫學博士　難波睦
醫學博士　中西林藏
×線　醫學博士　難波睦
技師　工藤慶造
衞生試驗所　醫學博士　中西林藏
技師　小熊英夫
藥局　藥劑師　吉本孝平

本院醫事法學士　岡番
法制顧託　賀澤忠治
本院主管

一、衞生試驗所
一、病氣相談所（共濟病院內）
一、救療所

共濟病院は皆さんの病院であります
御用付のことは御注意を願へます

磐城共濟會

◎看護婦見習募集　平町電話六四一番

特賣!!
たひら正宗

福島縣清酒品評會一等賞受賞

花春

同優等賞受賞

醬油釀造元

鹽屋
山崎合名會社

電話一〇番

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地がありますが、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり葉書にて御相談に應じます

小名濱商事株式會社
平出張所

電話　六〇三番
五四一番

徒らに嘲笑を購つた 井上藏相の演說

不景氣問題には言及せず 呆氣に取られた聽衆

石城郡に於ける選擧戰は各候補とも猛烈なる文書、言論戰に相當の効果をあげたが就中政友派、木村、佐藤兩候補の遊說隊のものせる不景氣内閣彈劾の主張は至るところ好評を博し選擧民の大勢政友候補に有利に轉回し與黨候補の打擊甚大なりと見た民政派では

此の大勢を覆り返さんものと井上藏相を招き昨十七日平町と内郷村で演說會を開いたので此の殺人的不景氣と失業問題等の根源をなす國家經濟界の元締めたる井上藏相の所信を聽かんとせる聽衆は相當に多く賑つたことは事實であるけれども

井上藏相 の演說は單に對外貿易並に公債政策の極めて小部分を述べ抽象的に民政黨内閣謳歌の聲を揚げたのみで聽衆の聞かんと欲した即ち此の深刻なる不景氣と低止する所なき失業者續出とに對する具体的政案については一言も發せず所がなかつた、即ち井上藏相の演說は

景氣、不景氣は普通經濟界の狀態なら四、五年間で循環するのだが、大正九年以來、今日に至るまで何等の變化なく不景氣が續いてゐるのは普通の經濟狀態と異なる點があるからだ」と前提して歐州大戰當時輸出貿易と大戰後の貿易狀況を比較し

年々輸入超過み來してゐるこれが普通經濟界と異つた點で不景氣の根源であると

大正九年以來の經濟狀態を逃べ更に

この輸入貿易の超過を防止し經濟界を根本的に立直し不景氣を一掃するため濱口内閣は財政整理、公債の整理、消費節約の斷行而して金解禁の斷行をなしたのである

とて一國の財政はその國の經濟力各國民の經濟力と一致しなければならんとの前提から緊縮の必要と財政整理の關係に就って述べ更に公債問題に亘り公債の多いのは國民の不利益、國家の不名譽を語り、

政府は民間から公債を募集せず民間經濟を培養し初めて堅實の景氣が出る民間から金を取り發展を出すと言ふことには反對だ

と述べ、更に昭和五年の豫算に就て二三の說明をなし最後に

現在の不景氣を一掃するには濱口内閣でなければ斷じてならぬそれにつけても國民は政府の政策に一致共鳴して堅實なる景氣出現に努力して欲しいと結論した、井上藏相は昨年七月現内閣成立以來一層深刻化したるこの不景氣とその對策並に失業問題に就ては一言も言及せず逃げを張り一般聽衆をして徒らに不滿不平の聲を發せしめた許り恐らくは何等の効果なき許りか寧ろ現内閣の經濟政策の拙劣さ加減を暴露したのみであつたと觀測されてゐる

最後の舌戰 木村、佐藤派 今明郡下で

第三區政友佐藤派では十八九の兩日石城郡内四箇所で最後の舌戰を試みるが比佐派でも十九日平町、内郷の二箇所で演說會を開催午後の十二時まで大衆へ呼びかけた事となつた尙政友木村派でも十九日平、内郷、小名濱の三箇所に氣勢をあげる筈である

郡民の同情集り 木村氏盛り返す 佐藤派は最後迄絕對安心は不可

第三區より立候補した佐藤庄太郎氏に對し同情各地に起り、氏多年の政治的努力に對し酬ゆるは此の時であると同派の運動員は

必死を盡して當選圈を目指し猛運動を試み有權者またこれに和し形勢次第に好轉しつゝあるが何分にも石城には比佐候補手固く戰陣を張り相双の地には氏家候補が頑張り佐藤候補に對しては最後まで樂觀は禁物である。氏家派は相双から得る投票と、石城郡から流れ込む投票で、既に悠々當選圈内にあると豪語してゐる程であるから佐藤派も油斷ならずとして極力氏家派の進出を防ぎ、千策に對抗してゐるが氏家派は與黨の

恩惠を受けて最後に如何なる手段を弄するか、危險このよもないから之に對し佐藤派は斷乎たる決心のもとに彼等を魔手を防ぐべく嚴重なる警戒をなしてゐる、一方石城郡地方を本據として立ち、比佐、氏家兩候補から狹擊され、一時苦境を傳へられた木村候補は郡内隅から隅まで論陣を張り不景氣内閣打倒と民衆政治の公正を絕叫し續けたる結果昨今漸く當選圈に入り今一段の努力を措まねば當選は稍々確實なるものゝ如く觀られてゐる

佐藤事務所へ 亂入 二人の泥醉漢

相馬郡原の町伊勢やの政友會公認候補佐藤庄太郎氏の事務所へ十六日午後九時頃幹部の留守中人力車に乘つた二人の醉漢があばれ込み手當り次第器物を破壞し亂暴を働き引き上げたとの急報に原の町署員が逮捕したが右は同町榮町杉原良之助(四二)但野隅次(四三)といふ札付の選擧ブローカーで反對黨のただてに乘り酒の力を借り亂暴を働いたものであると

馬を双相の野に 死力の佐藤軍 木村派も茲を千途 第三區の猛闘戰

第三區は双相二郡が石城の木村比佐兩候補の逆襲によつて俄然變調となり最初破竹の勢ひを以て兩氏の地盤侵略に突貫した策戰も遂に鉾を轉じて自壘を堅むる由なき狀態で正味中一日に迫りその刻々の勢力は一夜といはず或は優に或は劣に變轉全く靜止する處なくなつた

走馬燈の 如く日夜の別なく舌戰に策謀に最後の活動を續けてゐる事とて佐藤氏家の兩派はいやが上にも神經過敏となり從來の算用も文字通り皮算用に終つた有樣で却て以前石城二軍の取つた方略に基き一票も散じましいと死物狂を演じてゐるが何せ石城勢は戰略に策謀共に双相勢に比して一歩の長あり眞の精銳ともいふべく爲に白兵戰は双相の野に展開された形ち、從つて勢ひの赴くところ潛行的行動を開始されたとの報が頻々と傳はるに至つたので平、四倉、富岡、浪江、原の町の各署は私服を督勵して大いに警戒しつゝある有樣で

自他共に 貧乏を標榜した四候補だけに全く不思議極まるものがある、さはあれ及第點の一萬五千票は何人が收め得るか佐藤氏家兩派の石城陣營は更に勇氣百倍の体である

火事拂ひ式 湯本の火元で

湯本町驛前高岡自動車部は兩度の出火騷ぎから極度に神經を尖らしたので附近の住職を聘し祝融祓を昨十七日擧行したと

罰金の判決に 檢事不服 或は控訴か

平町番匠町洋傘直し松田與八(三八)が鎌田遊廓小泉樓に短刀を振り廻はし娼妓みどり(二〇)を殺害せんとしてはたさず遂に未遂に終つた事件は去る八日平區裁判所の公判に於て檢事から懲役四ケ月の求刑あつた事は既報の如くであるが昨十七日平區裁判所判事は前記與八に罰金四十圓の情ある判決言渡しを爲したので檢事は不服で起訴するらしいと

金森内務部長 今十八日來平

本縣内務部長金森太郎氏は今十八日午後三時土木課警察署の事務監督の爲め來平した筈

文學研究會 平第一校で開催

平第一小學校では今十八日午後三時から敎職員一同から成る文學研究會を開き研究者福田忠夫氏を招き講演を開催した

泉村農産品評

泉村農會主催の農産物品評會彰狀授與式は來る二十日午前十時から同村小學校に於て擧行されると

候補者月旦 (三) 佐藤庄太郎氏

政友會支部幹事長佐藤庄太郎氏は幹事長の采配を常任幹事に委せてご自分は濱の第三區で戰つてゐる、双葉相馬で襃に公認した松本氏が突如辭退したんで白羽の矢が立つた譯だ。自分にお鉢が廻ると直ちに上京して本部と打合せその足で選擧區へ乘り込み、立ち遲れだからとて南西北馬、文書に言論に努めてゐる

◇

佐藤候補は前後二回の代議士戰に落選の憂き目を見てゐるが何事三度目と言ふから今度こそは當り籤だらう。君の政治生活は遠く十六歲の頃から初まる。まだ白面の一青年時代に反對黨の演說會に暴ばれ込み檢束を喰らつた事があつたそうだ。爾來四十有餘年間の久しきに亘つて政治のために全身を捧げ地方のため働いて居る

◇

一意、縣政を憂ひ、一意國家の現狀を憂慮する以外に現在の君には野心もなく、私心もない現内閣の緊縮政策は國民を益々不景氣のドン底に落とし産業を退嬰せしめるもんだから「オレが出馬して一つ景氣を出さう政友會でなくてはだめだ」の寸法で立候補したのである

◇

今や白熱高潮に達した双相の山野に戰機漲つる情報を聽けば「一度は議政壇上に送らねばならぬ」どんな仕事を賴んでも、あれほど眞劍にやつてくれる男はない、それに一押し、二押し、三押しの押式で眞劍にやるだから大抵の難關も佐藤君の前にはかなはぬ」と人氣、同情を集めてゐるそうだその聲に誤りはない、地方民のためには便利な男である

◇

多年本縣政界のために努力奮闘し、地方開發のためまめ〱しく立働いた佐藤候補に一度は代議士の肩書を與へてやる事も無意味ではなからう

◇

政友第三區からは木村、佐藤どつちもかけてはならぬ、佐藤庄太郎、木村清治二人が仲よく肩を並べて帝國議會の玄關をくゞることそ二人の喜びであり、そうさすべきことが濱三郡民衆の務めではなからうか

景氣か!不景氣か 判斷を誤るな (三)

濱口内閣の取つた緊縮政策は吾々農村民、勞働者、俸給生活者地方小都市住民の生活すら脅威するに至つた。この深刻なる不景氣がこれ以上繼續すれば、吾々は最早手を拱いて餓死を待つより外にない。濱口内閣は經濟國難を叫んで自ら經濟國難を迎へたのである。使ふな、食ふな、着るな。これが彼等の緊縮政策である。食ふだけならば犬でも猫でも食つてゐる。唯吾々は人間として生きなければならないのである。文化的に生活を營まなければならない。濱口内閣はこの文化觀念において大なる缺陷を持つてゐる。濱口内閣の經濟政策は猿の經濟政策である。

凡ての經濟行爲は人が基ゐである。そして人を高價に、物を安價にすることが經濟の目的である。人を高價にしてその生產能力を增大し、延いて產業の發達を圖るために國民生活の標準を高めねばならぬ。高い標準の生活とは贅澤な計らしとか、奢侈生活ではない。健康を保持するため、身分を保持するために、能率を增進するために適當なる生活をなすことである。然るに濱口内閣は國民を「低標準の生活」に止めやうとするのである。これは民政黨の傳統的經濟政策に織込まれた一つの精神である。彼の減俸案の如きはその精神の現れである。人間の購買力を少くして物價を安くしやうといふのが民政黨の政策である以上理論的にそこまで行かなければならぬ。

一方 は彼の減俸案は中央の事業家が先づ官吏の減俸を行はしめ、それを理由と自分の使用してゐる勞働者の賃金を引下んとして政府に官吏減俸を强要したゝめであるといはれてゐるが、それにしても一般の俸給を安くしやうといふのが、濱口内閣の經濟政策の奧を流れる思想なのである。幸ひに官吏 强固なる反對を與論の正當なる主張によつて減俸案は撤回の止むなきに至つたが彼等の經濟思想がそこにあるのだら何時如何なる時また闇打ち的に減俸案が持出されるかも知れない露骨なる減俸案でなくとも、兎に角何等かの形式で官吏の減俸が行はるゝことは疑ひない減俸や馘首によつて正に官吏恐慌時代が出現せんとしてゐるものである。

また政府は今日の緊縮政策は他日大に伸びんがためであるといつてゐるが、これは私經濟上のことであつて公經濟には無意味のことである。政治さのいふものは常に普通的に何れの地方に對しても平均にせねばならぬ。つまり昨年も計らしもよく今年も計らしよく、また明年をも計らしよくするやうに政策を立なければならぬ。明日さへ良ければ、今日はどんな苦痛でも忍べといふのは政策的には全く落第である。然らば一體政府の緊縮政策は、吾々農民や勞働者小俸給生活者等に如何なる影響を齎したか。それは恐るべき失業群の出現と苛烈なる生活苦である斯うまで不景い氣が深刻となり經濟的活動が阻止されてはそこに勞働者の仕事があり樣筈はない働かんとしても働けない殊に政府自らが土木、鐵道その他中央及び地方事業費の中止乃至削減した爲め、そこにも大きな失業群が現はれたのである。都市勞働者は職を失つて故郷を目指して歸る。女工の失業群もまた同樣農村へ〱と入込む、それに土木鐵道の事業が悉く中止になつて居るので農村は今や失業群の洪水である。然るに政府はこの失業ぐんに對しては何等對策を構せざるのみならず當局が發表する失業者調査には農村歸鄕者は失業者としては數へて居ないのである濱口内閣はこの刻下の大社會問題に對し耳を覆へ、目を閉ぢ自然の成行きに委せんとしてゐるのである

藏相の演說會に 糾彈の烽火 政友本部から急行して 石城政友の能度

平町にたける民政比佐派應援のため來平した井上大藏大臣の演說會は豫て發表せる聚樂館を變更して元商業學校庭に於て開催したが同校は現在第二小學校(女子部)の假敎場となつてをり二百五十餘名の兒童を收容し午後一時はまだ授業が終らないに拘はらず演說會を開いたので石城政友部會ではこれを重大視し對策を決定することゝなつたが非合法とする理由は

一、授業中にあつたこと

一、會場が道路に面してゐたこと

擴聲器を使用し通行人及び學生一般が政談演說を聽衆出來たこと

一、警官が入場者の身體檢査をしなかつたこと

一、會場の設備が整つてゐなかつたこと

筈で本部に調査方を請求する所あつたる結果臨檢員を特派して徹底的に糾彈することになつた

新築落成

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 (專門)

大和田醫院

中町南町(舊診療所向)電一七〇番

大和田郡司

自炊の便あり

立憲政友會公認

木村清治君

石城政友部會

責任者 平町三ノ三 山田忠太郎

推薦廣告

立憲政友會公認候補者

佐藤庄太郎君

政治生命の最後として敢然悲壯る決心を以て奮起した同氏を茲に推薦し極力氏の當選を期す

推薦者 谷口仁太郎

平町二丁目三十九番

植田町本町

前田醫院

…入院隨時…

電一二四番

サロンのバーには

何時も生ビールがあります

毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います

ドーゾ御試食を……

田町松月堂隣り

美味で評判の きもちよい サロン

電話 三五二番

男、女給仕人數名募集